

～ブロームウントフォスHal 37



【←フォークト博士の前作
キ5 陸軍試作戦闘機と】

前回(68)で取り上げたキ5 陸軍試作戦闘機の後、フォークト博士がドイツに帰国して、ブロームウントフォス社において設計した試作機です。この機体は、急降下爆撃機を推進したウーデッドが力を入れた新型爆撃機への応募機なので、戦闘機ではなく、爆撃機ということになります。1935年1月に初飛行しています。キ5より洗練された形状を有しましたが、逆ガル形状にスパッツ付きの主翼という構成は同じでした。なかなか美しい機体だと思うのですが、残念ながら、この機体は正式採用されませんでした(採用されたのはJu-87 スツーカーの原型になったユンカーズ案)。安定性の欠如が落選の理由ではありませんでしたから、キ5に比べて空力特性は改善されていたのかもしれませんが(個人的には懐疑的ですw)。この機体のもう一つの特徴は主翼翼端に取り付けたアンテナマストです。戦後、米国に移住する際に翼端の渦を減少させ、誘導抵抗を低減するウィングチップ理論を提唱するフォークト博士ですから、このアンテナマストは、もしかしたらそのヒントになったのかもしれませんが。

【模型について】

チェコの Olimp モデルズ・Pro-Resin ブランドの 1/72 レジンキットです。ポリエチレンを含む柔らかい素材ですが、シャープなモールドです。カチツとしたできで、気泡もなく、大きな苦勞なく完成させることができました。

(中川裕幸 2022年8月)